

悪質宗教

信仰の自由は法の定めるところですが、布教活動を隠して勧誘する悪質な団体もあります。

「信仰の自由」は法の定めるところですが、中には布教活動であることを隠して、勧誘する悪質な団体もあり注意が必要です。さらにはその宗教の目的（真理）達成のためには、法を犯したり、法律すれすれの迷惑行為もいたしかたないとする団体もあります。

このような団体に入信すると、洗脳され自分で考えることができなくなり、さまざまな活動をさせられたり、多額の献金を要求されるケースもあります。深みにはまると、友人や家族あるいは社会との関係性まで破壊され、人生に莫大な損失を被ることになりかねません。



少しでも変だなと感じたら、きっぱり断ることです。「信仰の自由」には、「信仰しない自由」も含まれます。

なお、学内において、無許可で特定の宗教団体の目的を実現するための活動はできません。

布教活動を隠しての勧誘例

以下に典型的な勧誘の手口を紹介しますので参考にしてください。

■旧友、知人からの誘い

中学や高校時代の友人から突然電話が入り、「久しぶりに会って話したい」「君に会いたがっている人がいる」と言われます。

旧友からの懐かしい誘いであり、会う約束をします。また、会いたがっている人とは他の旧友ではと勘違いしてファミレスなどの待ち合わせ場所に行くと、友人の他に見ず知らずの人（複数の場合もあります）があなたを待っています。そこで何時間にもわたり入信を勧められ、断れないような状況に追い込まれ、「一度体験入会してみては？」と巧みに活動場所へ行く約束をさせられてしまいます。最初は半信半疑ながら、徐々に洗脳されてやがて深みにはまってしまいます。

■サークル活動と称しての勧誘

英会話、コーラス、テニスなどのサークルやボランティア活動に参加しませんかと誘われます。何回か活動に参加すると、「あなたがいると明るい雰囲気になり、みんなが楽しくなる」「あなたは優しくていい顔している」などと褒められ、居心地が良くなり自分の居場所を見つけたような気になります。やがて「あなたはいい人だから特別に人生に役立つ話を聞かせてあげる」などと言って、団体への集会や合宿研修を勧められ、出掛けて行くと初めて宗教団体であることを知らされます。場合によっては周りの人たちに、すでに入信した人であるかのような紹介をされ、勧誘を断れないような状況になり、徐々に洗脳されて深みにはまってしまいます。

■アンケート調査と称しての勧誘

街角で、「あなたは霊の存在を信じますか」「あなたは人生をどのように考えますか」などといった質問項目が書かれているアンケート用紙を持って声をかけてきます。質問項目の回答と併せて、住所や電話番号を記入すると、猛烈な電話、手紙攻勢で勧誘されてしまいます。